

平成23年度

事務事業評価表(平成22年度の実績評価)

記入年月日
平成 23 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 区分, 事務事業No., 課内No., 政策体系, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠. Includes details for 'コミュニティスクール開設助成事業' and '生涯学習推進事業'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】 真壁地区において平成9年度より4小学校を拠点として、学校週5日制に対応し、週末の児童の居場所づくりと「生きる力」を育むことを目的に実施している。...

Table with columns for (1) 事務事業の目的, ①手段, ②対象, ③意図, ④結果, ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標. Includes activity metrics like '実行委員会開催回数'.

Table with columns for (2) 指標値の推移, 区分, 単位, 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(実績), 23年度(計画), 24年度(計画), 25年度(計画), 28年度(目標). Shows trends for activity and result indicators.

Table with columns for (3) 投入量(事業費)の推移, 区分, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 24年度, 25年度, 28年度, 期間限定総投入量. Breaks down costs into '事業費' and '人件費'.

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

事務事業名	コミュニティスクール開設助成事業	事務事業No.	32334055	所属課	文化生涯学習課
-------	------------------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	<p>① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)</p> <p>地域住民の本字業への参加は、地域の子どもは地域で守り育てるという地域教育力の育成、意識啓発に資するものであり、ひいては、求める市民の役割である自らの地域は自らを作るという住民自治意識の充実が期待できるものである</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている</p>
	<p>② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?)</p> <p>総合計画(次世代を担い、健康で明るく意欲ある人材を育成する「明日を支える人づくり」)の中で謳っている「豊かな心」を養い、子ども達が健やかに育つ環境作りを推進するために必要と思われる。 従来は地域教育力の育成を図ってきたが、実行委員会の自立度が高まってきている現状で、公共関与の度合いは変化するかどうか?</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である</p>
	<p>③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?)</p> <p>対象は市民(児童生徒を含む)であり、妥当と思われる。 また、円滑に運営できているという意図も、妥当であると思われる。</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である</p>
有効 性	<p>④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)</p> <p>平成9年度から活動してきているため、各校が主体的に取り組む状況になっており、実行委員会としては円滑に運営できている。 ただ、各地区における事業内容が前年度踏襲のきらいがあるため、事業内容の吟味が必要。 反面、毎年実施しているものは好評であり、児童へのアンケートでも現れていた。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない</p>
	<p>⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)</p> <p>地域教育力、地域の子どもは地域で見守る雰囲気作りが叫ばれている中、本事業は地域住民の交流の場でもあり、地域教育力の啓発に資する事業であるため、廃止した場合新たな事業を企画する必要があると思われる。</p> <p><input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有</p>
	<p>⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む))</p> <p>他に手段がある <input type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 地区ごとに年間4~5回実施しており、今後実施予定の放課後子ども教室との連携もあるため統廃合・連携は難しい。※他地区(大和・岩瀬地区)での同種の事業等との連携は可能かも?</p> <p><input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>
効率 性	<p>⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など))</p> <p>受益者負担の額をあげることで、事業費を削減することはかのかと思われるが住民の理解と協力が不可欠。 性急に事を進めようとすると、かえって事業離れを起こす可能性もある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない</p>
	<p>⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?)</p> <p>現在も地域住民主体の事業で、職員は事業補助・相談にのる程度であり、業務時間としてはあまりかかっていない。 以上のことから、人件費の削減する余地はない。</p> <p><input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない</p>
公平 性	<p>⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)</p> <p>各地区における参加者の機会平等は原則である。 受益者の負担額を高くすることは考えられる。</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
<p>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>実行委員会の自主的な活動が育ってきた中で、行政の関与がこのままでよいのか?</p> <p>実行委員会の協議の中で、事業内容のマンネリ化が挙げられた。反面、毎年実施しているものは好評であり、児童へのアンケート等にも表れていた。</p> <p>受益者負担の見直し</p>																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>(複数回答可)</p> <p><input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善</p> <p><input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(3)-1 改革改善策																								
<p>事業内容の見直しを図りつつ、多様な体験機会の設定、教育的効果の見込まれる活動の精査。 費用面についても、受益者負担の額を拡げることにより削減することは可能と思われる。</p>																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
<p>課長確認後の評価</p> <p><input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止</p> <p><input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出</p>	<p>確認欄</p> <p><input type="checkbox"/></p>
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項